



坪単価2万3000円の土地を  
13万2000円で購入するのはあり得ない

答 土地区画整理事業費から算出

都市建設部長

えない。どういふことか。

道の駅の土地購入金額は、想定される土地区画整理事業費が60億であり、その回収をするための平米単価から算出している。

議員

道の駅基本計画に関する2冊の冊子と官民連携調査の報告書の作製を戸田建設と随意契約により3100万円で業務委託しているが、完成した冊子等は100万円もかからない代物だ。1社と随意契約とした点及び高額な契約金額の根拠を伺う。

産業拠点整備課長

常総インター周辺の整備検討を官民連携事業として実施している戸田建設との随意契約が適切である。契約金額は、他の自治体と比較しても、内容的・金額的に差はなく適切と考える。

議員

道の駅の土地についてだが、戸田建設が地権者から坪単価2万3000円で取得したものを、市が坪単価13万2000円で購入する計画になっている。人件費を使って農地転用の事務手続をしたのも常総市なのに、なぜ価格がそこまで跳ね上がるのか。官民一体の土地転がしにしか見



高崎坂東線バイパスの進捗状況について  
尋ねる

答 32年度に供用開始の予定

都市建設部長

高崎坂東線バイパスの進捗状況の説明報告を求めます。

議員

高崎坂東線バイパスについては、向石下から古間木までの区間を25年9月議会において、市道として路線認定が採択され、26年度から事業に着手している。現在の進捗状況は、未買収地の用地取得については対象件数22件に対して残り3件となっており、工事については、当初計画の中で軟弱地盤対策の3カ所、蔵持、古間木、篠山地区の盛土工事を主に実施している。蔵持地区は29年度で完了した。今後の予定としては、未買収の用地取得と、2カ所の盛土工事とあわせて、沈下が治まってきたところから道路改良工事を行い、32年度の供用開始に向けて事業を進めていきたい。

議員

軟弱地盤で崩れてしまつて大騒ぎしているところもあるため、執行部も大変苦労しているのではないかと思う。私も協力は惜しまないので、できるだけ早く事業を進めてほしい。

道路建設課長

盛土工事箇所は軟弱地盤があり、32年の供用開始を目標に進めるが、状況によっては若干の遅れが出る可能性も念頭に置いていただきたい。



茂田 信二 議員

水野 昇 議員